「こだわりの宿」26軒を紹介　特集

日本の宿 古窯

山形県・かみのやま温泉

楽焼きが物語る良縁の歴史

山形県かみのやま温泉の名旅館「日本の宿 古窯」(佐藤信幸社長)。その名は敷地内から発掘された、1300年前の奈良朝時代の窯跡から付けられた。窯跡は発掘時そのままの姿で保存し、窯神社として窯の神を奉り、旅行客の安全と開運を祈願している。

楽焼き

館内の楽焼きギャラリーには古窯に宿泊した各界の著名人が描いた楽焼き約4千点の中から、約300枚が展示されている。石原裕次郎、美空ひばり、坂本九、岡本太郎など、その作品の数々は古窯の歴史そのもの。人柄や思想、哲学まで表現された、個性あふれる作品を見学したい。

宿泊客も館内で素焼きの皿に絵付けを体験できる。翌日には仕上がるので、旅の思い出として持ち帰ることができる。

古窯の魅力は楽焼き以外にも地元ブランドのコメ、野菜、一頭買いする米沢牛料理など数々あるが、最も外せないのが、泉質だろう。3大美人泉質として知られる「ナトリウム・カルシウム・塩化物・硫酸塩温泉」が湯船に注がれる。天然の化粧水とも言われるメタケイ酸の含有量が1千ミリリットルに対し、50ミリグラム以上なら美肌に有効だとされているところ76ミリグラムも含まれている。肌の水分や脂を適度に保つだけでなく表皮細胞の角質化を促進し、しっとりとキメの細かい肌を作ってくれる。

風呂は1泊では回りきれないほどバラエティに富んでいる。8階の展望大浴場では、蔵王連峰の絶景と、歌聖・斉藤茂吉翁の故郷を一望。夜はかみのやまの夜景、夏には満点の星空を堪能できる。1階の紅花風呂は、山形特産の紅花を染料として使うため、京の都に運んだ北前船を、船大工が10分の1の大きさで再現したものが飾られている。山形の歴史に思いをはせながら、ゆったりと湯浴みを楽しみたい。

▽日本の宿古窯は山形県上山市葉山5―20。☎023・672・5454。http://www.koyoga.com/

雄大な蔵王連峰を望む「古窯」

楽焼きギャラリー

ホテル清風苑

新潟県・月岡温泉

美人の湯を心ゆくまで

新潟県月岡温泉の「ホテル清風苑」(樋口恵一社長)は「美人になれる温泉」で知られる月岡の湯を心ゆくまで堪能できる宿だ。温泉は来年で開湯98年。ホテルは来年で開業85年と、温泉地の歴史とともに歩んできた。男女2カ所ずつ、合計4カ所の大浴場と3つのテレビ付き貸し切り風呂があり、浴槽の数は合わせて15個。多彩な6つの湯船がそろう露天風呂は嵯峨人形風のマスコット「6つ子のお湯かけ小僧」が置かれ、愛敬ある姿で湯浴み客を迎えている。また女性に人気で心身ともにリフレッシュできる。

温泉・浴場

人や環境への配慮にも取り組む宿で、部屋には国産無垢材の自然素材を使用。煙草が苦手な人向けに禁煙ルーム16室を備えている。若く元気な客室係が多く、夕食の部屋出しなど、大型旅館でありながらきめ細やかなサービスを心掛けている。

ロビーでは毎晩9時から、スタッフによる踊りなど、夜のにぎわいを演出している。

▽ホテル清風苑は新潟県新発田市月岡温泉278―2。☎0254・32・2000。http://www.seifuen.com/

殿の湯大岩露天風呂

タカミヤホテルグループ

山形県・蔵王温泉

源泉かけ流しの湯を24時間

タカミヤホテルグループ(岡崎彌平治社長)は、山形県内で8軒の旅館・ホテルを経営する、創業296年の老舗。蔵王温泉では「深山荘高見屋」を中心に5軒。日本海側では湯野浜、あつみ両温泉で各1軒。さらに今年春には小野川温泉(米沢市)に「湯杜 匠味庵 山川」をオープンした。誘客に力を入れ、県内全域の観光活性化に貢献したいと意欲的だ。

温泉・浴場

中核施設の深山荘高見屋は、蔵王温泉の中でも最も奥の高台に位置する。創業は江戸時代の享保元年(1716)。間もなく創業300年を迎えようという老舗だが、歴史の重みと和モダンの内装がうまくマッチし、館内に落ち着いた雰囲気をかもし出す。

湯は自家源泉のかけ流し。湯量豊富な蔵王の湯を新鮮なまま、24時間楽しめる。

本館1階の「長寿の湯」は、露天の桶風呂も備えた内湯。創業以来の昔ながらの木造の風呂は、湯治場としての風情を感じさせる。露天風呂付き客室を備えたスイート棟「離庵山水」にある「せせらぎの湯」も、石づくりの露天風呂や露天桶風呂、ひのき湯があり、風情がある。貸し切り風呂の露天「吉備多賀湯」と「山の慈(めぐ)み湯」も人気が高い。

グループ運営の蔵王温泉内の5軒の風呂を湯めぐり気分で無料で楽しめるのも、温泉好きにはたまらない。

同館の歴史の深さを知るには、「明治天皇行在所(あんざいしょ)」など、県内外の伝統ある家屋や土蔵5棟を蔵王の地に移築、復元した施設「童(わらべ)の里」もおすすめ。天皇家からの賜り物や江戸時代の藩主らが使った湯治具など、同館に代々伝わる品を展示しており、歴史、文化面での知的好奇心を満たしてくれる。

「蔵王は信仰の山であり、温泉を含め、豊かな自然など癒しのスポットも多い」と常務の岡崎純子さん。温泉とともに蔵王の様々な魅力を発見できる。

▽深山荘高見屋は山形県山形市蔵王温泉54。☎023・694・9333。http://www.zao.co.jp/main.html

風情豊かな創業296年の格式

深山荘高見屋の露天桶風呂

ホテル双葉

新潟県・越後湯沢温泉

種類豊富な「28(ふたば)」の湯

越後湯沢温泉の中でもひときわ高い丘の上に建つ「ホテル双葉」(小林庄一社長)。最大の魅力はなんといっても風呂だ。温泉施設は名付けて「二十八(ふたば)の湯」。「ぱぱらく」「ままらく」「山の湯」「里の湯」の4カ所の大浴場があり、その中で28の湯巡りができることからこの名が付いた。薬草三昧の風呂や深さが110センチの「びっくり立ち湯」など、個性豊かな浴槽がそろう。

温泉・浴場

客室78室のうち29室が露天風呂付きというぜいたくさも魅力。

やすらぎ棟「花水木」では、花・水・木をテーマに、フロアごとに3つの「邸宅」を用意した。小グループ、2~3世帯のファミリー、カップルの満足を満たす150平方メートルの空間。食事処「万葉の小径」や個室ダイニング「花暦」など、新しいプライベート空間も展開し、料理長こだわりの料理を提供する。

▽ホテル双葉は新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢419。☎025・784・3357。http://www.hotel-futaba.com/

展望大浴場

日光千姫物語

栃木県・日光温泉

月替わりの懐石料理が評判

訪れる旅人に『夢のような美しい物語』の一頁を――。栃木県日光温泉の日光千姫物語(根本芳彦社長)は、月ごとに献立が替わる懐石料理が評判だ。四季折々の食材に和洋の料理人が腕をふるう。宿泊客向けの夕食、朝食はもとより、日帰り客向けの昼食プランのメニューも充実している。

料理・食事

夕食として自信を持って提供するのが月替わり懐石「千姫御膳」。和食の粋とフレンチの華やかさの両方が楽しめる基本のメニュー。日光名産の湯波や中禅寺湖産のヒメマスをはじめ、地元の食材、各地の旬の食材を選りすぐっている。

さらなる贅を求める宿泊客には、千姫御膳をグレードアップさせた「厳選懐石膳」がお勧め。また、〝質は高く、量は控え目に〟という宿泊客には、「控え目懐石膳」を用意している。

夕食には予約を受けてからメニューを考案する「フレンチコース」も選択できる。朝食にも心を尽くし、チェックイン時に和食と洋食を選べるようにしている。

完全予約制の昼食の昼御膳にも、月替わり懐石、湯波懐石、精進料理、ビフテキ懐石などのメニューをそろえている。昼食に合わせて入浴プランをセットすることも可能だ。

料理へのこだわりに加え、浴場や客室に趣向をこらして旅行者を癒す。客室(計44室)は日光の山々や渓谷を臨む。スタンダードな和室のほか、和洋特別室1、特別室2、露天風呂付き和室3など。

温泉は肌にやさしい単純アルカリ泉で大浴場とウッドデッキテラスが付いた露天風呂を男女それぞれに備えている。

昨年3月には4つの新しい風呂もオープンした。女性用のテルマーレ、ミストサウナ、シルキー風呂、ジェットバスと、男性用のミストサウナだ。肌に潤いを与え、体を芯から温めてくれると好評だ。

▽日光千姫物語は栃木県日光市安川町6―48。☎0288・54・1010。http://www.senhime.co.jp/

月替わり懐石の厳選懐石膳

ウッドデッキテラスが付いた露天風呂

秀峰閣湖月

山梨県・富士河口湖温泉郷

湖越しの美しさが評判

富士山は日本人にとって格別の存在だ。山梨県・富士河口湖温泉郷の秀峰閣湖月(小佐野国博社長)では、その富士山を客室、レストラン、ロビー、大浴場など館内どこからでも眺められる。不況や震災の影響で旅行需要が冷え込む昨今だが、数多くの客でにぎわうというから驚きだ。

富士山

河口湖の北側のほとりに建つ。ただ見えるだけなら人を呼ぶ評判にはならない。「湖越しに望める富士山は稜線がはっきりとし、麓まで分かる。形はほとんど左右対称。ここまで美しい富士はなかなかない」と宮下武常務。

夏の赤富士、秋は紅葉を添え、冬の雪山、春は桜と共に、と四季折々の趣を楽しめる。視認できる確率は半々。「ご覧いただけたお客さまはその日とてもご機嫌です」(宮下常務)。

雨天などの時は富士山の絵葉書を渡す。

▽秀峰閣湖月は山梨県南都留郡富士河口湖町河口2312。☎0555・76・8888。http://www.kogetu.com/

露天風呂から眺める富士山

あさや

栃木県・鬼怒川温泉

女性に優しい配慮随所に

栃木県鬼怒川温泉のあさや(八木澤哲男社長)は、豊富な湯量の自家源泉を持ち、抜群の展望を備えた屋上階の露天風呂をはじめ、多種多様な浴場が自慢だ。このほど館内をリニューアル。特に女性に優しい配慮を随所に凝らしている。

温泉・浴場

館は開放的な吹き抜けのロビーが印象的な「秀峰館」と、古き良き日本の温泉旅館の情緒が漂う「八番館」で構成。

秀峰館の屋上、川面から80メートルという鬼怒川で最も高い場所に空中庭園露天風呂「昇龍の湯」がある。四季折々の山や渓谷、夜ならば星空を一望。総檜造りの船形の浴槽ほか、岩風呂、桶風呂があり、男女入れ替えで楽しめる。

秀峰館はこの7月にリニューアル。新たに禁煙レディースルームを7室設けた。各部屋に「ナノケアスチーマー」「ナノケアドライヤー」など女性にうれしい備品を備えた。女性専用だが、女性同伴ならば男性も利用できる。

八番館も今年3月にリニューアルした。「くつろぐ人を美しい人へ」をコンセプトに、炭をはじめとした癒やしのアイテムで、「ゆったりとした優雅な時間を作り出す」と同館。

大浴場は「滝の湯」として生まれ変わった。内湯と併設の露天風呂を新設。寝湯や座湯のほか、女性用にはナノミストサウナやシルキー風呂を設置した。超微細の粒子が肌と髪に潤いとツヤを与える。湯上がりどころは大理石を配したシックな空間。館内唯一の露天風呂付き客室も備えた。

昨年1月には貸切風呂「福満宝尽くし 吉祥」を『打ち出の小槌の湯』をオープンした。「福を授かり、振れば願いごとが叶う打ち出の小槌」をテーマに、異なるタイプの4種の浴室がある。

鬼怒川の川底からわく自家源泉は「子宝の湯」と呼ばれ、古くから疾病に対する効能の高さが知られていた。泉質はアルカリ性単純温泉で肌触りのよさが特徴。肌が滑らかになると評判だ。

▽あさやは栃木県日光市鬼怒川温泉滝813。☎0288・77・1111。http://www.asaya-hotel.co.jp/

レディースルーム

八番館の大浴場

華やぎの章 慶山

山梨県・石和温泉

ステーキと旬彩懐石

料理に定評のある華やぎの章慶山(千須和昌和社長)。2009年9月にステーキ懐石を提供する「牛鉄板焼処『千』」(カウンター12席)、10年3月に旬彩懐石の「客前割烹『昌』」(同8席)が相次いでオープン、真新しい施設での食事に宿泊客の評判は上々だ。

料理・食事

完全予約制。18~19時半と20~21時半の2部制を採っているため、ゆったりと落ち着いた雰囲気で料理を味わえる。

千ではシェフが目の前でもてなす甲州牛・甲州ワインビーフの鉄板焼きフルコースが、昌では板前が見事な腕前で魚を捌き、新鮮な刺身と熱々の天ぷらが楽しめる。

このほか、みのぶゆばをふんだんに使った「湯葉懐石」や野菜を中心に素材の効能を生かした慶山オリジナルの「薬膳料理」なども

ぜひ味わってほしい。

▽華やぎの章慶山は山梨県笛吹市石和町市部822。☎055・262・2161。http://www.keizan.com/

牛鉄板焼処「千」での食事風景